

国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」

指定地の現況について

- 西部指定地 -

平成 21 年 (2009) 3 月 31 日

四日市市文化財保護審議会委員 加田勝敏

目 次

はじめに	1
1．調査の目的	1
2．調査期間	1
3．調査の方法	1
4．取りまとめ	1
5．結果	2
・ 湿原部の植生	2
(1) 中間湿原の植生	2
(2) 低層湿原の植生	3
(3) その他の湿原植生	4
(4) ササ草原及び乾性草本植生	5
・ 湿原周辺部の植生	5
(1) 常緑広葉樹二次林	5
(2) 夏緑広葉樹二次林	5
(3) 植林及び竹林	6
(4) 伐採跡地の植生	6
(5) 路上植物群落	6
〔別記〕 御池沼沢植物群落西部指定地内の生育確認植物	7
【御池沼沢植物群落西部指定地の植物目録 2008.】	8～16
〔別紙〕 国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」 - 西部指定地 - 植生図	
国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」 - 西部指定地 - 組成表	

はじめに

御池沼沢植物群落の植生及び植物相についてのまとまった調査資料は、昭和 57 (1982) 年にまとめられたものが昭和 58 (1983) 年に公表されている。このときから既に 25 年以上の年月が経過している。概観的にもこの当時と比較して大きく異なっている。現況を正しく把握し、今後の維持・管理事業を実施するための基礎資料となるべき調査が必要不可欠であると考えられる。

そこで今回の調査に踏み切った次第である。

1. 調査の目的

冒頭にも触れたが、調査の目的は「現況を正しく把握して、今後の御池沼沢植物群落の維持・管理を行うための基礎資料とする」ためのものである。今回は植物社会学的な見地から植生調査を行い、その取りまとめを行った。しかし今回は、どの位置にどのような植物群落が存在しており、どのような構成種群からなっているか、またどの位置にどのような種が生育しているかを正しく記録することに重点をおいた。

2. 調査期間

予備調査として、指定地内の所番地を明確にするための 10m ごとの測量と杭打ちが市教育委員会社会教育課職員によって行われた。

植生調査は、湿原部を春季平成 20 (2008) 年 5 月 9 日～6 月 14 日 (14 日間)、中間 6 月 25 日、7 月 3 日、9 日、31 日、8 月 9 日 (5 日間)、秋季 9 月 13 日～11 月 18 日 (18 日間) に亘って、筆者と社会教育課職員及び辻いずみ (菰野町立竹永小学校教諭)・井川健一 (四日市市立大矢知興譲小学校教諭)・中村恵美子 (同内部東小学校教諭) が行い、周辺部の主として森林に関する調査は湿原の調査と並行して、また単独で全域をカバーできるように配慮して実施した。

デスクワークは社会教育課職員と筆者が行った。

3. 調査の方法

Braun-Blanquet (1964) に従い、調査区内の全被度と植生高、出現種すべての被度・群度、生育状況 (Ⅲ、Ⅰ、生育中、蕾、花、果、枯等)、草丈等を記録した。

植生調査は、本来均質な植分を選んで行なうが、今回は全域を網羅し、その部分の生育種の状況を記録して、今後の湿原や周辺部の維持・管理の基礎資料にすることを主目的としているために、本来ならば避けるべき、群落と群落にまたがったり、明らかに異なった環境であっても、2m メッシュでの区画を外れないように心がけた。また森林部分についても、全域をカバーする目的から林縁部をも含めて調査した。

4. 取りまとめ

フィールド調査で得られた資料を素表にまとめ、植物社会学的手法を用いずに、各

quadrat における優占種によって群落区分を行った。これは植物社会学的な知識がない人でも方形区の調査ができる人ならば取りまとめができるので、今後の維持・管理の際に比較できるという利便性を考慮してのことである。なお、できた組成表については群落ごとに1枚の用紙にまとめるのがよいが、取り扱いの容易な A3 版に収まるように分割して作成した。したがって、1 群落で A3 版 10 ページを越えるような群落は、組成の順番が異なったり、出現 1 回の種の内容に重複があったりするケースがあると思われる。

5. 結果

・ 湿原部の植生

湿原部の植生は、春、夏、秋の 3 季を通じて調査を行い、秋の調査だけでは同定できない種 (Carex の大半と春から夏に最盛期を迎える Gramineae や Orchidaceae の種) について補完するよう心がけた。

なお、湿原内部の植生は、概観的には森林 (低木林) と見られる部分もあるが、群落区分の複雑化を防ぐ意味で、止むを得ない植分を除いてはすべて草本植生として区分した。また、草本植生についても、高茎草本が優占する植分では二層構造あるいは蘚苔層を区分すると三層構造の植物群落となるが、すべてを単層群落として操作した。

表操作もできる限り隣接する quadrat が連続して見られるように、必要最小限の移動に留めた。そのために、下位単位を区分した群落では下位単位が離れてしまっているが、必要があれば並び変えられるので、その時々が必要に応じて組み換えて使用されたい。

湿原部分の植生は次のように区分した。

(1) 中間湿原の植生

西部指定地は、標高 30m 前後という低地にありながら、中間湿原の種が広く分布しており、過去の調査でもそのことが記載されている。今回も中間湿原の種が優占する植分を他の低層湿原の群落と区分した。

ヌマガヤ群落 *Moliniopsis japonica* com.

ヌマガヤは植物社会学的にはヌマガヤオーダー (*Moliniopsietalia japonicae* Miyawaki et K.Fujiwara 1970) ヌマガヤ群団 (*Moliniopion japonicae* Miyawaki et K.Fujiwara 1970) として扱われている。

ほぼ全域に分布しており、以前 (地下水の湧出があり、湿原内を広く地下湧水が流れていた当時) は、ヌマガヤの基部が洗われて逆杯状を呈する「谷地坊主」が成立していたが、陸地化の影響もあって、ヌマガヤが一面に繁茂してしまっている。

ヌマガヤが優占する植分をヌマガヤ群落として区分し、さらにヤチヤナギの有無によって、典型下位単位 (Under unit of typicum) とヤチヤナギ下位単位 (Under unit of *Myrica gale* v. *tomentosa*) として区分した。

イヌノハナヒゲ群落 *Rhynchospora chinensis* com.

コイヌノハナヒゲ群落 *Rhynchospora fujiana* com.

双方とも、植物社会学的にはホシクサ類 - コイヌノハナヒゲ群団

(*Eriocaulo-Rhynchosporion fujii* K. Fujiwara 1979) に属し、前者は低地帯の貧栄養湿地に成立し、イヌノハナヒゲを標徴種として区分される。後者は山地の貧栄養湿地に成立する矮性多年生草本群落として位置づけられている。標徴種にコイヌノハナヒゲ、ミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、カリマタガヤ、ホシクサ属があげられている。

千葉県植物誌(大場 1995)ではミミカキグサ イヌノハナヒゲクラス(*Utriculo Rhynchosporetea* Ohba 1982 nom. nud.) ミミカキグサ - イヌノハナヒゲオーダー(*Utriculo-Rhynchosporetalia* Ohba 1982 nom. nud.) ホシクサ イヌノハナヒゲ群団として位置づけているが、詳細を読んでおらず、また学名も裸名なので引用できない。

イヌノハナヒゲとコイヌノハナヒゲは、今回の調査では明らかに住み分けをしているような結果がでた。しかし、すべての調査区のサンプリングができなかったので断定はできない。いずれの群落でも、構成種群が5~10種程度と少ないことがひとつの特徴といえる。

(2) 低層湿原の植生

a. ヨシクラス(*Phragmitetea*) の植物群落

低層湿原の最も普通の植物群落である。ヨシクラスの標徴種が優占する植分を4群落に区分した。ヨシクラスはヨシオーダー(*Phragmitetalia eurosibiricae* Tx. et Prsg. 1942) ヨシ群団(*Phragmition* W.Koch 1926)と大形スゲオーダー(*Magnocaricetalia* Pign. 1953)に大別されており、ヨシ群落、イヌホタルイ群落はヨシ群団、ツルヨシ群落はセリ クサヨシ群団、カサスゲ群落は大形スゲオーダー、ホソバノヨツバムグラ 大形スゲ群団に含まれる。

ヨシ群落 *Phragmites australis* com.

ヨシクラスの代表種ヨシはヌマガヤとともに湿原全域に分布しており、前回の報告書作成時点でもヨシの抑制が課題となっていたが、誰一人具体案を出せず現在に至っており、秋には湿原の大半が草丈3mを越えるヨシによって覆われるといっても過言ではない。また、台風通過後はヨシが倒伏して、下層に覆い被さる状況が見られる。

イヌホタルイ群落 *Schoenoplectus juncooides* com.

ヨシが繁茂してシラタマホシクサの生育が危ぶまれるとして、有志でヨシを除去したところに成立した植生で高茎草本がなく、1年目の植生であり、経年変化を観察する必要性が感じられる。シラタマホシクサが出現していることが特徴かどうかは判断が難しい。

ツルヨシ群落 *Phragmites japonica* com.

セリ クサヨシ群団(*Oenantho-javanicae Phalridion arundinaceae* Miyawaki et Okuda 1972)に属する群落で、植物社会学的には低地から山地にかけての流水辺、富栄養立地の冠水草原、砂礫地に成立する群落として位置づけられ、ツルヨシ群集(*Phragmitetum japonicae* Minamikawa 1963)に含まれる。

ツルヨシは、1983年の報告書には群落としてもリストに挙げられておらず、その後侵入して勢力を拡大したものと考えられる。

カサスゲ群落 *Carex dispalata* com.

大形スゲオーダー (*Magnocaricetalia* Pign. 1953) ホソバノヨツバムグラ 大形スゲ群団 (*Galio brevipedunculati Magnocaricion* Miyawaki et K.Fujiwara 1970) に属する群落で、カサスゲ群集 (*Caricetum dispalatae* Miyawaki et Okuda 1972) として分類されている。低地帯の富栄養立地に成立し、水路の末端部を中心に広がっている。

b. タウコギクラス (*Bidentetea tripartitae* Tx., Lohm. Et PRSG. 1950) の植物群落

タウコギクラスは好窒素性一年生植物群落で、低地から山地にかけての流水辺、溝、水田等の富栄養立地に成立する。当地でも植物枯れ死体の腐敗速度が速く、年々陸地化、富栄養化が進行するなかで、すでに湿原の中央部に成立が見られる。優占種によってアキノウナギツカミ群落、アメリカセンダングサ群落、ヤナギタデ群落に区分した。

アキノウナギツカミ群落 *Persicaria sieboldii* com.

アキノウナギツカミはつる性の植物であるが、付近に生育しているものに絡み付いて植生高 1 m 強までになる。種子の発芽状況も良好で、翌年にはさらに勢力を広げることが予測される。

アメリカセンダングサ群落 *Bidens frondosa* com.

当指定地のアメリカセンダングサ群落は、今回は 1 区画しか識別できなかったが、さらに広がる懸念がある。

ヤナギタデ群落 *Persicaria hydropiper* com.

構成種が 3~5 種と極端に少なく、湿原植生の種もハンノキ以外には見当たらない。

(3) その他の湿原植生

ここでは、植物社会学的にみて所属が不明の湿性植物群落を扱った。

アンペライ群落 *Machaerina rubiginosa* com.

熱帯地方に分布の本拠地をもつ種で、日本では千葉県(角野 1994)、静岡県以西の太平洋側の本州、島根県、四国(除高知県)、九州(除福岡県)、沖縄県に分布が知られており、三重県ではいなべ市、四日市市水沢町、鈴鹿市、志摩市大王町、南伊勢町、紀宝町からも報告がある。根茎を引いて繁殖するので、嫌がられて引抜き作業を行なっているところもある一方で、分布が限られているとして、レッドデータブックに記載されている府県も少なくない。三重県でもレッドデータブックに取り上げられているが、厄介な植物であることに変わりはない。密生すると他の矮小植物が生育できなくなるのみならず、枯れて倒伏したものが地表を覆い尽くし、枯れ死体の腐敗が早く、陸地化、富栄養化に拍車をかけるなどの悪い影響が多いので、生育範囲を抑制する必要がある。特に当地においては、ヨシ、ヌマガヤと併せてその抑制対策を真剣に考え、対策を進めるべき種のひとつである。

イソノキ群落 *Rhamnus crenata* com.

木本植物は基本的には草本植生の一部として扱ったが、イソノキが低木層に優占し下層が疎らになった植分があり、これをイソノキ群落として区分した。イソノキも放置しておくと群落を形成して林内はほとんど何も生えなくなることがあるので、注意が必要である。

(4) ササ草原及び乾性草本植生

ネザサ群落 *Pleiblastus chino* v. *viridis* com.

ネザサ群落が著しく広範囲に広がっている。構成種をみると、ミズギボウシ、ヌマトラノオ、ヒメシロネ、サワシロギク、ノハナショウブ等々多数の湿原植生の種がみられることから、乾燥化が進行して、ネザサ群落が湿原内部へと拡大しているものと考えられる。

ススキ群落 *Miscanthus sinensis* com.

湿原の東縁（観察路沿い）と水路の間にヨシ群落が成立しており、湿原の一部にもススキの侵入がみられる。この植分にも多くの湿原の構成種がみられるので、本来は湿原であった部分であることは明白である。

ハチジョウススキ群落 *Miscanthus concensatus* com.

三重県各地の乾燥した裸地（人手を加えて造成した空地、高速道路の法面付近、山地の伐採跡地等）では、沿海地に本拠地をもつハチジョウススキがススキと置き換わっているかのように普通に生育している。当指定地においても、いつの間にかハチジョウススキ群落が大勢を占めて、ススキ群落は僅かしか見られなかった。背丈も高く、大株となって地表を覆い尽すように繁茂するので駆除する必要がある。

アシボソ群落 *Microstegium vimineum* v. *polystachyum* com.

林縁や疎林の林床に生育するアシボソが優占する群落が、僅かながらみられた。構成種はベニバナボロギク、アオツツラフジなどの湿原とは無関係の種で占められている。

・ 湿原周辺部の植生

(1) 常緑広葉樹二次林

湿原周辺部は、アカマツ林であったところが枯死してスギを植林したところが大半であるが、湿原沿いの一部では高木層に常緑広葉樹が優占する林分が認められた。構成種はヤブツバキクラスの種群で占められており、カクレミノ、ヒサカキ、シロダモが多い。土壤が適湿からやや多湿で、低地帯であることからタブノキ群落に移行することが予測されるが、現状は高木層に優占するクロガネモチ、クスノキ、タブノキによって3群落に区分した。いずれの林分も構成種に大きな違いは見られず、高木層の優占種が異なるだけである。

クロガネモチ群落 *Irex rotunda* com.

クスノキ群落 *Cinnamomum camphora* com.

タブノキ群落 *Persea thunbergii* com.

(2) 夏緑広葉樹二次林

一部に夏緑広葉樹二次林が見られる。構成種群をみると、これらもカクレミノ、タブノキ、クロガネモチ、シロダモ、ヒサカキ、ベニシダ、マンリョウなどヤブツバキクラスの種が高被度で生育しており、いずれは常緑広葉樹林に移行することが予測される。

高木層の優占種により、センダン群落、エノキ群落、ヤマザクラ群落に区分した。この林分にも植林されたスギが見られるが生育状況は不良である。

(3) 植林及び竹林

森林植生の大半が植林と竹林で占められており、いずれも当指定地の植生としては無用かつ有害なものである。

スギ群落 *Cryptomeria japonica* com. (Cryptomeria japonica plantation)

植林されたスギが成長して林を形成したもので、亜高木層以下はカクレミノ、シロダモ、タブノキ、ネズミモチ、ヒサカキ、ベニシダ、クログネモチなどのヤブツバキクラスの種群で占められており、スギがなくなれば自動的に常緑広葉樹林に移行することがみえている。

ハチク群落 *Phyllostachys nigra* v. *henonis* com.

植生高 15m 前後に達したハチクが繁茂する植分で、ハチク以外にはほとんど木本類はみられず、林床にヤブツバキクラスの種群の芽生えが見られる程度である。ハチクは通路を越えて半埋まりかけた水路も横切って、ついに湿原内部に達した。タケ・ササ類は岩盤やコンクリートなどの障壁がなければ果てしなく生育範囲を拡大していくので、早目の対策を行なわないと手遅れになる。

(4) 伐採跡地の植生

クサギ アカメガシワ群落 *Clerodendron trichotomum* *Mallotus japonicus* com.

主としてハチクを伐採した後に成立した植物群落であり、先駆植物群落のクサギ アカメガシワの低木群落が成立している。低木層はクサギ アカメガシワ群団の標徴種であるクサギ、アカメガシワ、ヌルデが 60～75%の植被率で優占し、林内には伐採跡地や林縁植生叢指標種も多い。

(5) 路上植物群落

オオバコ群落 *Plantago asiatica* com.

入口から湿原の奥まで続く管理用通路は、湿潤でやや陰湿な状況下にあり、オオバコが優占する踏跡植物群落が成立している。クサイが見られるクサイ下位単位 (Under unit of *Juncus tenuis*) と特定の種群をもたない典型下位単位 (Under unit of *typicum*) に区分した。いずれにしてもオオバコの大群落が湿原周辺に存在することは好ましくない状況であり、既に湿原内部にも侵入しているので、早急に駆除することが望ましい。

御池沼沢植物群落西部指定地内の生育確認植物

植生調査資料を中心に、また、調査の合間に記録したノートから生育確認種のリストを作成した。標本作製することが望ましいが、現在これを実施できる人材がないので、改めて採集する人材を探して、きちんとした標本を保存されることを切望する。

分類体系は、種子植物は新 Engler、シダ植物は岩槻邦男(編)1992 によった。科内の配列は属のアルファベット順、属の中は種のアールファベット順とした。学名については可能な限り最近使用されているものを用い、Author's name は可能なかぎり省略形を用いないように心がけた。科名は一部慣用的に使用されているものを使用している。蘚苔類はオオミズゴケのみを記載し、他は未調査である。

和名は主として岩槻邦男(編)『日本の野生植物・シダ』、佐竹義輔ほか『日本の野生植物 木本及び草本』を使用した。

生育を確認できた種の分類群別の種数は次の一覧表に示す通りである。

御池沼沢植物群落 西部指定地内生育確認種

シダ植物			10	科	28	種
種子植物	裸子植物		4		4	
	被子植物	双子葉植物				
		離弁花類	46		125	
		合弁花類	21		72	
		単子葉類植物	14		95	
蘚苔植物	蘚類		1		1	
合計					325	

亜種、変種、品種等も種として数えた

【御池沼沢植物群落 西部指定地の植物目録 2008.】

PTERIDOPHYTA		シダ植物	湿原周辺
	Equisetaceae	トクサ科	
1	<i>Equisetum arvense</i> Linn.	スギナ	
	Osmundaceae	ゼンマイ科	
2	<i>Osmunda japonica</i> Thunberg	ゼンマイ	
	Plagiogyriaceae	キジノオシダ科	
3	<i>Plagiogyria euphlebia</i> (Kunze) Mettenius	オオキジノオ	
4	<i>Plagiogyria japonica</i> Nakai	キジノオシダ	
	Schizaeaceae	フサシダ科	
5	<i>Lygodium japonicum</i> (Thunberg) O.Swartz	カニクサ	
	Dennstaedtiaceae	イワヒメワラビ科	
6	<i>Hypolepis punctata</i> (Thunberg in Murray) Mettenius ex Kuhn	イワヒメワラビ	
7	<i>Microlepia marginata</i> (G.W.F.Panzer) C.Christensen var. <i>marginata</i>	フモトシダ	
8	<i>Pteridium aquilinum</i> (Linn.) Kuhn var. <i>latiusculum</i> (Desvoux) Underwood ex A.Heller	ワラビ	
	Lindsaeaceae	ホングウシダ科	
9	<i>Sphenomeris chinensis</i> (Linn.) Maxon	ホラシノブ	
	Parkeriaceae	ホウライシダ科	
10	<i>Coniogramme intermedia</i> Hieronimus	イワガネゼンマイ	
	Blechnaceae		
11	<i>Blechnum niponicum</i> (Kunze) Makino	シシガシラ	
	Dryopteridaceae	オシダ科	
12	<i>Arachnioides simplicior</i> (Makino) Ohwi var. <i>major</i> (Tagawa) Ohwi	オニカナワラビ	
13	<i>Arachnioides standishii</i> (Moore) Ohwi	リョウメンシダ	
14	<i>Cyrtomium foutunei</i> J.Smith var. <i>clivicola</i> (Makino) Tagawa	ヤマヤブソテツ	
15	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) O.Kuntze	ベニシダ	
16	<i>Dryopteris kinkiensis</i> Koidzumi ex Tagawa	ギフベニシダ	
17	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	オクマワラビ	
18	<i>Polystichum longifrons</i> S.Kurata	アイアスカイノデ	
19	<i>Polystichum polyblepharum</i> (Roemer ex Kunze) C.Presl	イノデ	
	Thelypteridaceae	ヒメシダ科	
20	<i>Stegnogramma pozoi</i> (Lagasca) K.Iwatsuki subsp. <i>mollissima</i> (Fischer ex Kunze) K.Iwatsuki	ミゾシダ	
21	<i>Thelypteris glanduligera</i> (Kunze) Ching	ハシゴシダ	
22	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching	ハリガネワラビ	
23	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching forma (C.Chr.) Nakato, Sahashi & M.Kato, stat. nov.	アオハリガネワラビ	
24	<i>Thelypteris laxa</i> (Franchet et Savatier) Ching	ヤワラシダ	
25	<i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa	ミドリヒメワラビ	
	Woodsiaceae	イワデンダ科	
26	<i>Athyrium deltoideifrons</i> Makino	サトメシダ	
27	<i>Deparia japonica</i> (Thunberg) M.Kato	シケシダ	
	Polypodiaceae	ウラボシ科	
28	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching	ノキシノブ	

SPERMATOPHYTA		種子植物
GYMNOSPERMAE		裸子植物
Pinaceae		マツ科
29	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zuccarini	アカマツ
Taxodiaceae		スギ科
30	<i>Cryptomeria japonica</i> (Linn.fil.) D.Don	スギ
Cupressaceae		ヒノキ科
31	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zuccarini) Endlicher	ヒノキ
Podocarpaceae		マキ科
32	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunberg) D. Don	イヌマキ
ANGIOSPERMAE		被子植物
Dicotyledoneae		双子葉植物
Choripetalae		離弁花類
Myricaceae		ヤマモモ科
33	<i>Gale belgica</i> Duham. var. <i>tomentosa</i> (C. DC.) Yamazaki	ヤチヤナギ
Betulaceae		カバノキ科
34	<i>Alnus japonica</i> (Thunberg) Steudel	ハンノキ
Fagaceae		ブナ科
35	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zuccarini	クリ
36	<i>Quercus glauca</i> Thunberg ex Murray	アラカシ
37	<i>Quercus serrata</i> Thunberg ex Murray	コナラ
Ulmaceae		ニレ科
38	<i>Aphananthe aspera</i> (Thunberg) Planchon	ムクノキ
39	<i>Celtis sinensis</i> Persoon var. <i>japonica</i> (Planchon) Nakai	エノキ
40	<i>Zelkova serrata</i> (Thunberg) Makino	ケヤキ
Moraceae		クワ科
41	<i>Ficus erecta</i> Thunberg	イヌビワ
42	<i>Morus alba</i> Linn.	マグワ
Urticaceae		イラクサ科
43	<i>Boehmeria longispica</i> Steudel var. <i>longispica</i>	ヤブマオ
Polygonaceae		タデ科
44	<i>Antenoron filiforme</i> (Thunberg) Roberty et Vautier	ミズヒキ
45	<i>Persicaria hydropiper</i> (Linn.) Spach	ヤナギタデ
46	<i>Persicaria longiseta</i> (De Bruyn) Kitagawa	イヌタデ
47	<i>Persicaria nipponensis</i> (Makino) H.Gross	ヤノネグサ
48	<i>Persicaria perfoliata</i> (Linn.) H.Gross	イシミカワ
49	<i>Persicaria pubescens</i> (Blume) Hara	ポントクタデ
50	<i>Persicaria sieboldii</i> (Meisner) Ohki	アキノウナギツカミ
51	<i>Reynoutria japonica</i> Houttuyn	イタドリ
Phytolaccaceae		ヤマゴボウ科
52	<i>Phytolacca americana</i> Linn.	ヨウシュヤマゴボウ
Caryophyllaceae		ナデシコ科
53	<i>Stellaria aquatica</i> (Linn.) Scopolii	ウシハコベ
54	<i>Stellaria alsine</i> Grimm var. <i>undulata</i> (Thunberg) Ohwi	ノミノフスマ
55	<i>Stellaria media</i> (Linn.) Villars	コハコベ
Chenopodiaceae		アカザ科
56	<i>Chenopodium album</i> Linn. var. <i>album</i>	シロザ
Amaranthaceae		ヒユ科
57	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>japonica</i> Miquel	ヒカゲイノコヅチ
58	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>tomentosa</i> (Honda) H.Hara	ヒナタイノコヅチ

	Magnoliaceae		モクレン科
59		<i>Magnolia quinquepeta</i> (Buchoz) Dandy	モクレン
	Schisandraceae		マツブサ科
60		<i>Kadsura japonica</i> (Thunberg) Dunal	サネカズラ
	Lauraceae		クスノキ科
61		<i>Cinnamomum camphora</i> (Linn.) Siebold	クスノキ
62		<i>Cinnamomum japonicum</i> Siebold ex Nakai	ヤブニッケイ
63		<i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zuccarini) Blume	ヤマコウバシ
64		<i>Persea thunbergii</i> (Siebold et Zuccarini)	タブノキ
65		<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidzumi	シロダモ
	Ranunculaceae		キンボウゲ科
66		<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>apiifolia</i>	ボタンヅル
67		<i>Clematis terniflora</i> DC.	センニンソウ
	Berberidaceae		メギ科
68		<i>Berberis sieboldii</i> Miquel	ヘビノボラス
69		<i>Mahonia japonica</i> (Thunberg) DC.	ヒイラギナンテン
70		<i>Nandina domestica</i> Thunberg	ナンテン
	Lardizabaraceae		アケビ科
71		<i>Akebia quinata</i> (Thunberg ex Houttuyn) Decaisne	アケビ
72		<i>Akebia trifoliata</i> (Thunberg) Koidzumi	ミツバアケビ
	Menispermaceae		ツツラフジ科
73		<i>Cocculus trilobus</i> (Thunberg) DC.	アオツツラフジ
	Chrolanthaceae		センリョウ科
74		<i>Sarcandra glabra</i> (Thunberg) Nakai	センリョウ
	Actinidiaceae		マタタビ科
75		<i>Actinidia chinensis</i> Planchon	オニマタタビ
	Theaceae		ツバキ科
76		<i>Camellia sinensis</i> (Linn.) O. Kuntze	チャノキ
77		<i>Cleyera japonica</i> Thunberg	サカキ
78		<i>Eurya japonica</i> Thunberg	ヒサカキ
	Guttiferae		オトギリソウ科
79		<i>Hypericum erectum</i> Thunberg	オトギリソウ
80		<i>Hypericum japonicum</i> Thunberg	ヒメオトギリ
81		<i>Hypericum laxum</i> (Blume) Koidzumi	コケオトギリ
	Droseraceae		モウセンゴケ科
82		<i>Drosera rotundifolia</i> Linn.	モウセンゴケ
	Brassicaceae		アブラナ科
83		<i>Cardamine flexuosa</i> complex	タネツケバナ
84		<i>Cardamine regeliana</i> Miquel	オオバタネツケバナ
	Crassulaceae		ベンケイソウ科
85		<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	コモチマンネングサ
	Saxifragaceae		ユキノシタ科
86		<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zuccarini	ウツギ
87		<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold et Zuccarini	ナリウツギ
	Pittosporaceae		トベラ科
88		<i>Pittosporum tobira</i> (Thunberg ex Murray) Aiton	トベラ

	Rosaceae	バラ科
89	<i>Agrimonia nipponica</i> Koidzumi	ヒメキンミズヒキ
90	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledebour var. <i>japonica</i> (Miquel) Nakai	キンミズヒキ
91	<i>Cerasus jamasakura</i> (Siebold ex Koidzumi) H. Ohba var. <i>Jamasakura</i>	ヤマザクラ
92	<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunberg) Lindley	ビワ
93	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold ex Vriese	ズミ
94	<i>Photinia glabra</i> (Thunberg ex Murray) Maximowicz	カナメモチ
95	<i>Potentilla chrysantha</i> (Zoll. & Moritz) Treviranus forma <i>leucocephala</i> (Makino)	ヘビイチゴ
96	<i>Potentilla freyniana</i> Bornmueller	ミツバツチグリ
97	<i>Pourthiaea vilosa</i> (Thunberg) Decaisne var. <i>laevis</i> (Thunberg) Stapfan	カマツカ
98	<i>Raphiolepis indica</i> (Linn.) Lindley	シャリンバイ
99	<i>Rosa luciae</i> Rochebrune et Franchet ex Crepin	テリハノイバラ
100	<i>Rosa multiflora</i> Thunberg	ノイバラ
101	<i>Rosa paniculigera</i> Makino	ミヤコイバラ
102	<i>Rubus buergeri</i> Miquel	フユイチゴ
103	<i>Rubus microphyllus</i> Linn. fil.	ニガイチゴ
104	<i>Rubus parvifolius</i> Linn.	ナワシロイチゴ
105	<i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fischer ex Link var. <i>purpurea</i> Trautvetter et C.A. Meyer	ナガボノアカワレモコウ
	Leguminosae	マメ科
106	<i>Albizia julibrissin</i> Durazzini	ネムノキ
107	<i>Hylodesmum podocarpum</i> (DC.) H. Ohashi et R.R. Mill subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H. Ohashi et R.R. Mill	ヌスビトハギ
108	<i>Desmodium paniculatum</i> (Linn.) DC.	アレチヌスビトハギ
109	<i>Dunbaria villosa</i> (Thunberg) Makino	ヒメクズ
110	<i>Glycine soja</i> Siebold et Zuccarini	ツルマメ
111	<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunberg) Siebold et Zuccarini var. <i>pilosa</i>	ネコハギ
112	<i>Pueraria lobata</i> (Willdenow) Ohwi	クズ
	Oxalidaceae	カタバミ科
113	<i>Oxalis corniculata</i> Linn.	カタバミ科
	Euphorbiaceae	トウダイグサ科
114	<i>Mallotus japonicus</i> (Thunberg ex Murray) Mueller Arg.	アカメガシワ
	Rutaceae	ミカン科
115	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zuccarini	イヌザンショウ
	Meliaceae	センダン科
116	<i>Melia azedarach</i> Linn. var. <i>subtriinnata</i> Miquel	センダン科
	Anacardiaceae	ウルシ科
117	<i>Rhus javanica</i> Linn. var. <i>roxburghii</i> (DC.) Rehder et Wilson	ヌルデ
118	<i>Rhus sylvestris</i> Siebold et Zuccarini	ヤマハゼ
119	<i>Rhus trichocarpa</i> Miquel	ヤマウルシ
	Aceraceae	カエデ科
120	<i>Acer palmatum</i> Thunberg	イロハモミジ
	Aquifoliaceae	モチノキ科
121	<i>Ilex crenata</i> Thunberg	イヌツゲ
122	<i>Ilex integra</i> Thunberg	モチノキ
123	<i>Ilex macropoda</i> Miquel	アオハダ
124	<i>Ilex rotunda</i> Thunberg	クロガネモチ
125	<i>Ilex serrata</i> Thunberg	ウメモドキ
	Cerastraceae	ニシキギ科
126	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunberg	ツルウメモドキ
127	<i>Euonymus alatus</i> (Thunberg) Siebold forma <i>striatus</i> (Thunberg) Makino	コマユミ
128	<i>Euonymus hamiltonianus</i> Wallich subsp. <i>sieboldianus</i> Hara	マユミ
129	<i>Euonymus japonicus</i> Thunberg	マサキ

	Staphyleaceae		ミツバウツギ科
130	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunberg) Kanitz		ゴンズイ
	Rhamnaceae		クロウメモドキ科
131	<i>Berberis racemosa</i> Siebold et Zuccarini		クマヤナギ
132	<i>Rhamnus crenata</i> Siebold et Zuccarini		イソノキ
	Vitaceae		ブドウ科
133	<i>Ampelopsis glandulosa</i> Wallich		ノブドウ
134	<i>Cayratia japonica</i> (Thunberg) Gagnepain		ヤブガラシ
135	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zuccarini) Planchon		ツタ
136	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge		エビヅル
	Elaeagnaceae		グミ科
137	<i>Elaeagnus glabra</i> Thunberg		ツルグミ
138	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunberg		ナワシログミ
	Violaceae		スミレ科
139	<i>Viola gryoceras</i> A.Gray		タチツボスミレ
140	<i>Viola pumilio</i> W.Backer		フモトスミレ
141	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>verecunda</i>		ツボスミレ
142	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>semilunaris</i> Maximowicz		アギスミレ
	Cucurbitaceae		ウリ科
143	<i>Gynostemma pentaphylla</i> (Thunberg ex Murray) Makino		アマチャヅル
144	<i>Melothria japonica</i> (Thunberg) Maximowicz ex Cogniaux		スズメウリ
145	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Seringe) Maximowicz		カラスウリ
	Lythraceae		ミソハギ科
146	<i>Lythrum salicaria</i> Linn. subsp. <i>anceps</i> (Koehne) H.Hara		ミソハギ
147	<i>Rotala pusilla</i> Tulasne		ミズマツバ
	Haloragaceae		アリノトウグサ科
148	<i>Haloragis micrantha</i> (Thunberg) R.Brown		アリノトウグサ
	Cornaceae		ミズキ科
149	<i>Aucuba japonica</i> Thunberg		アオキ
	Araliaceae		ウコギ科
150	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (Linn.fil) S.Y.Hu		ヤマウコギ
151	<i>Aralia cordata</i> Thunberg		ウド
152	<i>Aralia elata</i> (Miquel) Seemann		タラノキ
153	<i>Dendropanax trifidus</i> (Thunberg) Makino		カクレミノ
154	<i>Fatsia japonica</i> (Thunberg) Decaisne et Planchon		ヤツデ
155	<i>Hedera rhombea</i> (Miquel) Bean		キツタ
	Umbelliferae		セリ科
156	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lamarck var. <i>sibthorpioides</i>		チドメグサ
157	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC. var. <i>javanica</i>		セリ
	Gamopetalae		合弁花類
	Clethraceae		リョウブ科
158	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zuccarini		リョウブ
	Ericaceae		ツツジ科
159	<i>Lyonia ovalifolia</i> (Wallich) Drude var. <i>elliptica</i> (Siebold et Zuccarini) Hand.-Mazz.		ネジキ
160	<i>Rhododendron obtusum</i> (Lindley) Planchon var. <i>kaempferi</i> (Planchon) Wilson		ヤマツツジ
161	<i>Vaccinium bracteatum</i> Thunberg ex Murray		シャシャンボ
162	<i>Vaccinium smallii</i> A.Gray var. <i>glabrum</i> Koidzumi		スノキ
	Myrsinaceae		ヤブコウジ科
163	<i>Ardisia crenata</i> Sims		マンリョウ
164	<i>Ardisia japonica</i> (Thunberg) Blume		ヤブコウジ

	Primulaceae		サクラソウ科
165	<i>Lysimachia fortunei</i> Maximowicz		ヌマトラノオ
166	<i>Lysimachia japonica</i> Thunberg var. <i>subsessilis</i> F.Maekawa ex Hara		コナスビ
	Ebenaceae		カキノキ科
167	<i>Diospyros kaki</i> Thunberg		カキノキ
	Stylacaceae		エゴノキ科
168	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zuccarini		エゴノキ
	Symplocaceae		ハイノキ科
169	<i>Symplocos coreana</i> (Leveille) Ohwi		タンナサワフタギ
170	<i>Symplocos paniculata</i> (Thunberg) Miquel		クロミノニシゴリ
171	<i>Symplocos prunifolia</i> Siebold et Zuccarini		クロバイ
	Oleaceae		モクセイ科
172	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunberg		ネズミモチ
173	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zuccarini		イボタノキ
174	<i>Osmanthus heterophyllus</i> (G.Don) P.S.Green		ヒイラギ
	Apocynaceae		キョウチクトウ科
175	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zuccarini) Nakai forma <i>intermedium</i> (Nakai) Murata		テイカカズラ
	Asclepiadaceae		ガガイモ科
176	<i>Cynanchum nipponicum</i> Matsumura var. <i>glabrum</i> (Nakai) Hara		タチカモメヅル
177	<i>Tylophora aristolochioides</i> Miquel		オオカモメヅル
178	<i>Tylophora floribunda</i> Miquel		コカモメヅル
	Rubiaceae		アカネ科
179	<i>Galium spurium</i> Linn. var. <i>echinospermon</i> (Wallroth) Hayek		ヤエムグラ
180	<i>Galium trifidum</i> Linn. var. <i>brevipedunculatum</i> Regel		ホソバノヨツバムグミ
182	<i>Hedyotis lindleyana</i> Hooker var. <i>hirsuta</i> (Linn.fil) H Hara		ハシカグサ
	<i>Paederia scandens</i> (Loureiro) Merrill var. <i>scandens</i>		ヘクソカズラ
183	<i>Rubia argyi</i> (Leveille et Vaniot) Hara ex		アカネ
	Verbenaceae		クマツツラ科
184	<i>Callicarpa dichotoma</i> (Loureiro) K.Koch		コムラサキ
185	<i>Callicarpa japonica</i> Thunberg var. <i>japonica</i> forma <i>japonica</i>		ムラサキシキブ
186	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunberg		クサギ
	Labiatae		シソ科
187	<i>Clinopodium gracile</i> (Bentham) O.Kuntze		トウバナ
188	<i>Lycopus maackianus</i> (Maximowicz ex Herder) Makino		ヒメシロネ
189	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidzumi var. <i>kurokawae</i> (Hara) Hara		イガタツナミ
	Solanaceae		ナス科
190	<i>Physalis pubescens</i> Linn. var. <i>pubescens</i>		センナリホオズキ
191	<i>Solanum lyratum</i> Thunberg		ヒヨドリジョウゴ
192	<i>Solanum pseudo-capsicum</i> Linn.		タマサンゴ
193	<i>Solanum ptycanthum</i> Dunal ex DC.		アメリカイヌホオズキ
	Schrophulariaceae		ゴマノハグサ科
194	<i>Mazus miquelii</i> Makino		ムラサキシキブ
195	<i>Paulownia tomentosa</i> (Thunberg ex Murray) Steudel		キリ
	Acanthaceae		キツネノマゴ科
196	<i>Hygrophila salicifolia</i> (Vahl) Nees		オギノツメ
197	<i>Justicia procumbens</i> Linn.		キツネノマゴ科
	Lentibulariaceae		タヌキモ科
198	<i>Utricularia bifida</i> Linn.		ミミカキグサ
199	<i>Utricularia caerulea</i> Linn.		ホザキノミミカキグサ
200	<i>Utricularia uliginosa</i> Vahl		ムラサキミミカキグサ

	Plantaginaceae	オオバコ科
201	<i>Plantago asiatica</i> Linn.	オオバコ
	Caprifoliaceae	スイカズラ科
202	<i>Lonicera japonica</i> Thunberg	スイカズラ
203	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunberg ex Murray	ガマズミ
	Campanulaceae	キキョウ科
204	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunberg) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) Hara	ツリガネニンジン
205	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lambert	サウギキョウ
	Compositae	キク科
206	<i>Artemisia indica</i> Willdenow	ヨモギ
207	<i>Aster ageratoides</i> Turczaninow subsp. <i>ovatus</i> (Franchet et Savatier) Kitamura	ノコンギク
208	<i>Aster rugulosus</i> Maximowicz	サワシロギク
209	<i>Bidens frondosa</i> Linn.	アメリカセンダングサ
210	<i>Bidens pilosa</i> Linn. var. <i>pilosa</i>	コセンダングサ
211	<i>Cirsium japonicum</i> DC.	ノアザミ
212	<i>Cirsium sieboldii</i> Miquel	キセルアザミ
213	<i>Conyza sumatrensis</i> (Retzius) E.Walker	オオアレチノギク
214	<i>Crassocephalum crepidioides</i> (Bentham) S. Moore	ベニバナボロギク
215	<i>Eupatorium chinense</i> Linn.	ヒヨドリバナ
216	<i>Eupatorium lindleyanum</i> DC. var. <i>lindleyanum</i>	サワヒヨドリ
217	<i>Gnaphalium japonicum</i> Thunberg	チチコグサ
218	<i>Ixeris debilis</i> A.Gray	オオジシバリ
219	<i>Ixeris dentata</i> (Thunberg) Nakai var. <i>dentata</i>	ニガナ
220	<i>Ixeris dentata</i> (Thunberg) Nakai var. <i>stolonifera</i> (Kitamura) Nemoto	ハイニガナ
221	<i>Lactuca indica</i> Linn.	アキノノゲシ
222	<i>Lapsana humilis</i> (Thunberg) Makino	ヤブタビラコ
223	<i>Pertya scandens</i> (Thunberg) Sch.Bip.	コウヤボウキ
224	<i>Senecio vulgaris</i> Linn.	ノボロギク
225	<i>Siegesbeckia glabrescens</i> (Makino) Makino	コメナモミ
226	<i>Solidago altissima</i> Linn.	セイタカアワダチソウ
227	<i>Stenactis annuus</i> (Linn.) Cassini	ヒメジョオン
228	<i>Xanthium canadense</i> Linn.	オオオナモミ
229	<i>Youngia japonica</i> (Linn.) DC.	オニタビラコ
	Monocotyledoneae	単子葉植物
	Alismataceae	オモダカ科
230	<i>Alisma canaliculatum</i> A.Braunn et Bouche ex Samuelsson	ヘラオモダカ
231	<i>Sagittaria aginashi</i> (Makino) Makino	アギナシ
232	<i>Sagittaria trifolia</i> Linn.	オモダカ
	Liliaceae	ユリ科
233	<i>Allium thunbergii</i> G.Don	ヤマラッキョウ
234	<i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunberg) C.Tanaka var. <i>orientalis</i>	ショウジョウバカマ
235	<i>Hemerocallis fulva</i> Linn. var. <i>longituba</i> (Miquel) Maximowicz	ノカンゾウ
236	<i>Hosta longissima</i> Honda	ミズギボウシ
237	<i>Liriope minor</i> (Maximowicz) Makino	ヒメヤブラン
238	<i>Liriope muscari</i> (Decaisne) Bailey	ヤブラン
239	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Linn.fil.) Ker-Gawler var. <i>japonicus</i>	ジャノヒゲ
240	<i>Ophiopogon ohwii</i> Okuyama	ナガバジャノヒゲ
241	<i>Rohdea japonica</i> (Thunberg ex Murray) Roth	オモト
242	<i>Smilax biflora</i> Siebold et Miquel var. <i>trinervula</i> (Miquel) Hatusima	サルマメ
243	<i>Smilax china</i> Linn. var. <i>china</i>	サルトリイバラ
244	<i>Smilax riparia</i> A.DC. var. <i>ussuriensis</i> (Regel) Hara et T.Koyama	シオデ
245	<i>Smilax riparia</i> A.DC. var. <i>ussuriensis</i> (Regel) Hara et T.Koyama forma <i>stenophylla</i> (Hara)	ホソバシオデ

Amaryllidaceae		ヒガンバナ科
246	<i>Lycoris radiata</i> (L.Heritier) Herbert	ヒガンバナ
Dioscoreaceae		ヤマノイモ科
247	<i>Dioscorea japonica</i> Thunberg	ヤマノイモ
248	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	オニドコロ
Iridaceae		アヤメ科
249	<i>Iris ensata</i> Thunberg var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai	ノハナショウブ
Juncaceae		イグサ科
250	<i>Juncus effusus</i> Linn. var. <i>decipiens</i> Buchenau	イ
251	<i>Juncus leschenaultii</i> J.Gay ex Laharpe	コウガイゼキショウ
252	<i>Juncus papillosus</i> Franchet et Savatier	アオコウガイゼキショウ
253	<i>Juncus tenuis</i> Willdenow	クサイ
254	<i>Juncus wallichianus</i> J.Gay ex Laharpe	ハリコウガイゼキシ:
Commelinaceae		ツククサ科
255	<i>Commelina communis</i> Linn.	ツククサ
256	<i>Murdannia keisak</i> (Hasskarl) Hand. -Mazz.	イボクサ
257	<i>Pollia japonica</i> Thunberg	ヤブミョウガ
Eriocaulaceae		ホシクサ科
258	<i>Eriocaulon desemflorum</i> Maximowicz var. <i>nipponicum</i> (Maximowicz) Nakai	イトイヌノヒゲ
259	<i>Eriocaulon hondoense</i> Satake	ニッポンイヌノヒゲ
260	<i>Eriocaulon nudicuspe</i> Maximowicz	シラタマホシクサ
Gramineae		イネ科
261	<i>Agrostis clavata</i> Trinius ex Sprengel subsp. <i>matsumurae</i> (Hackel ex Honda) Tateoka	ヌカボ
262	<i>Agrostis valvata</i> Steudel	ヒメコヌカグサ
263	<i>Andropogon virginicus</i> Linn.	メリケンカルカヤ
264	<i>Digitaria radicata</i> (J.Presl) Miquel	コメヒシバ
265	<i>Eleusine indica</i> (Linn.) Gaertner	オヒシバ
266	<i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunberg ex Murray) P.Beauvois	カゼクサ
267	<i>Microstegium vimineum</i> (Trinius) A.Camus var. <i>polytachyum</i> (Franchet et Savatier) Ohwi	アシボソ
268	<i>Festuca parvigluma</i> Steudel	トボシガラ
269	<i>Glyceria acutiflora</i> Torrey	ムツオレグサ
270	<i>Isachne globosa</i> (Thunberg) O.Kuntze	チゴザサ
271	<i>Lophatherum gracile</i> Brongniart	ササクサ
272	<i>Microstegium japonicum</i> (Miquel) Koidzumi	ササガヤ
273	<i>Miscanthus condensatus</i> Hackel	ハチジョウススキ
274	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	ススキ
275	<i>Molinia japonica</i> Hackel	ヌマガヤ
276	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Arduino) Roemer et Schultes var. <i>japonicus</i> (Steudel) Koidzumi	コチヂミザサ
277	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunberg	ヌカキビ
278	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michaux	オオクサキビ
279	<i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steudel	スズメノヒエ
280	<i>Phalaris arundinacea</i> Linn.	クサヨシ
281	<i>Phragmites australis</i> (Cavanilles) Trinius ex Steudel	ヨシ
282	<i>Phragmites japonica</i> Steudel	ツルヨシ
283	<i>Sacciolepis indica</i> (Linn.) Chase var. <i>indica</i>	ハイヌメリ
284	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrmann	アキノエノコログサ
285	<i>Sporobolus fertilis</i> (Steudel) W.Clayton var. <i>fertilis</i>	ネズミノオ
286	<i>Zoysia japonica</i> Steudel	シバ
287	Gramineae sp.	イネ科幼苗

Bambusaceae		タケ科
288	<i>Phyllostachys pubescens</i> Mazel ex Houzeau de Lehaie	モウソウチク
289	<i>Phyllostachys nigra</i> (Loddiges) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf ex Rendle	ハチク
290	<i>Pleioblastus chino</i> (Franchet et Savatier) Makino var. <i>viridis</i> (Makino) S.Suzuki	ネザサ
291	<i>Pleioblastus simonii</i> (Carriere) Nakai	メダケ
Palmae		シュロ科
292	<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hooker) H.Wendland	シュロ
Typhaceae		ガマ科
293	<i>Typha angustifolia</i> Linn.	ヒメガマ
294	<i>Typha latifolia</i> Linn.	ガマ
Cyperaceae		カヤツリグサ科
295	<i>Carex dispalata</i> Boott	カサスゲ
296	<i>Carex ischnostachya</i> Steudel var.	シュスゲ
297	<i>Carex japonica</i> Thunberg	ヒゴクサ
298	<i>Carex lenta</i> D.Don var. <i>lenta</i>	ナキリスゲ
299	<i>Carex maculata</i> Boott	タチスゲ
300	<i>Carex maximowiczii</i> Miquel var. <i>maximowiczii</i>	ゴウソ
301	<i>Carex omiana</i> Franchet et Savatier	ヤチカワズスゲ
302	<i>Carex phacota</i> Sprengel	ヒメゴウソ
303	<i>Carex pudica</i> Honda	マメスゲ
304	<i>Carex thunbergii</i> Steudel	アゼスゲ
305	<i>Carex</i> sp.	スゲ属の1種
306	<i>Cyperus haspan</i> Linn var. <i>tuberiferus</i> T.Koyama	コアゼガヤツリ
307	<i>Cyperus pilosus</i> Vahl	オニガヤツリ
308	<i>Cyperus serotinus</i> Rottboell	ミズガヤツリ
309	<i>Eleocharis tetraquetra</i> Nees	マシカクイ
310	<i>Eleocharis wichurae</i> Bockeler	シカクイ
311	<i>Fimbristylis complanata</i> (Retzius) Link	ノテンツキ
312	<i>Machaerina rubiginosa</i> (Sprengel) T.Koyama	アンペライ
313	<i>Rhynchospora alba</i> (Linn.) Vahl	ミカツキグサ
314	<i>Rhynchospora faberi</i> C.B.Clarke	イトイヌノハナヒゲ
315	<i>Rhynchospora fujiana</i> Makino	コイヌノハナヒゲ
316	<i>Rhynchospora chinensis</i> Nees et Meyen	イヌノハナヒゲ
317	<i>Schoenoplectus juncooides</i> (Roxburgh) Palla subsp. <i>juncooides</i>	イヌホタルイ
318	<i>Schoenoplectus juncooides</i> (Roxburgh) Palla subsp. <i>Hotarui</i> (Ohwi) T.Koyama	ホタルイ
319	<i>Schoenoplectus mucronatus</i> subsp. <i>robusutus</i> (Miquel) T.Koyama	カンガレイ
Orchidaceae		ラン科
320	<i>Cymbidium goeringii</i> (Reichenbach fil.) Reichenbach fil.	シュンラン
321	<i>Epipactis thunbergii</i> A.Gray	カキラン
322	<i>Habenaria radiata</i> (Thunberg) Sprengel	サギソウ
323	<i>Liparis nervosa</i> (Thunberg) Lindley	コクラン
324	<i>Pogonia japonica</i> Reichenbach fil.	トキシソウ
BRYOPHYTA		蘚苔植物
BRYOPSIDA		蘚類
Sphagnaceae		ミズゴケ科
325	<i>Sphagnum palustre</i> Linn.	オオミズゴケ